
経済理論 I (マクロ経済学)

柳原 光芳

第7回

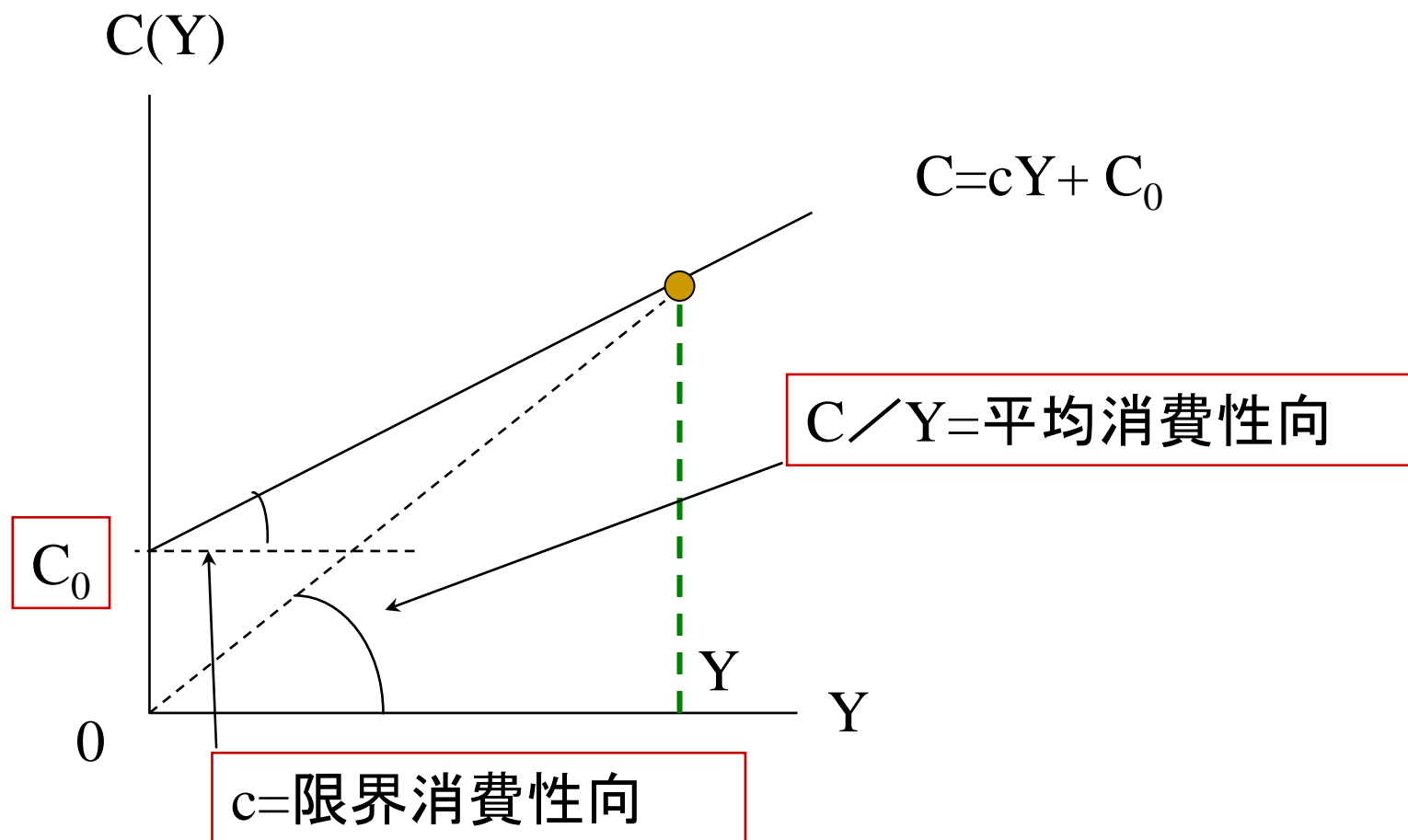
第5講：消費と貯蓄（第14章）

- 現在の所得に依存「しない」消費関数はどのような形であろうか？
- なぜそのような消費関数が必要とされるのか？
- それらの消費関数とケインズ型消費関数との違いはどのようなものか？

3.3 ケインズ型消費関数(グラフ) (13-1)

復習

例:



5. 1 ケインズ型消費関数は「正しい」か？

検証するための現実のデータ

- ①クロス・セクションデータ:ある特定の時点での異なる(所得)階層の人々に関する(消費の)データ
- ②タイム・シリーズデータ:異なる時点での同じ質のもの(消費)に関するデータ
 - あ・長期データ...比較的長い期間(50年など)
 - い・短期データ...比較的短い期間(4年など)

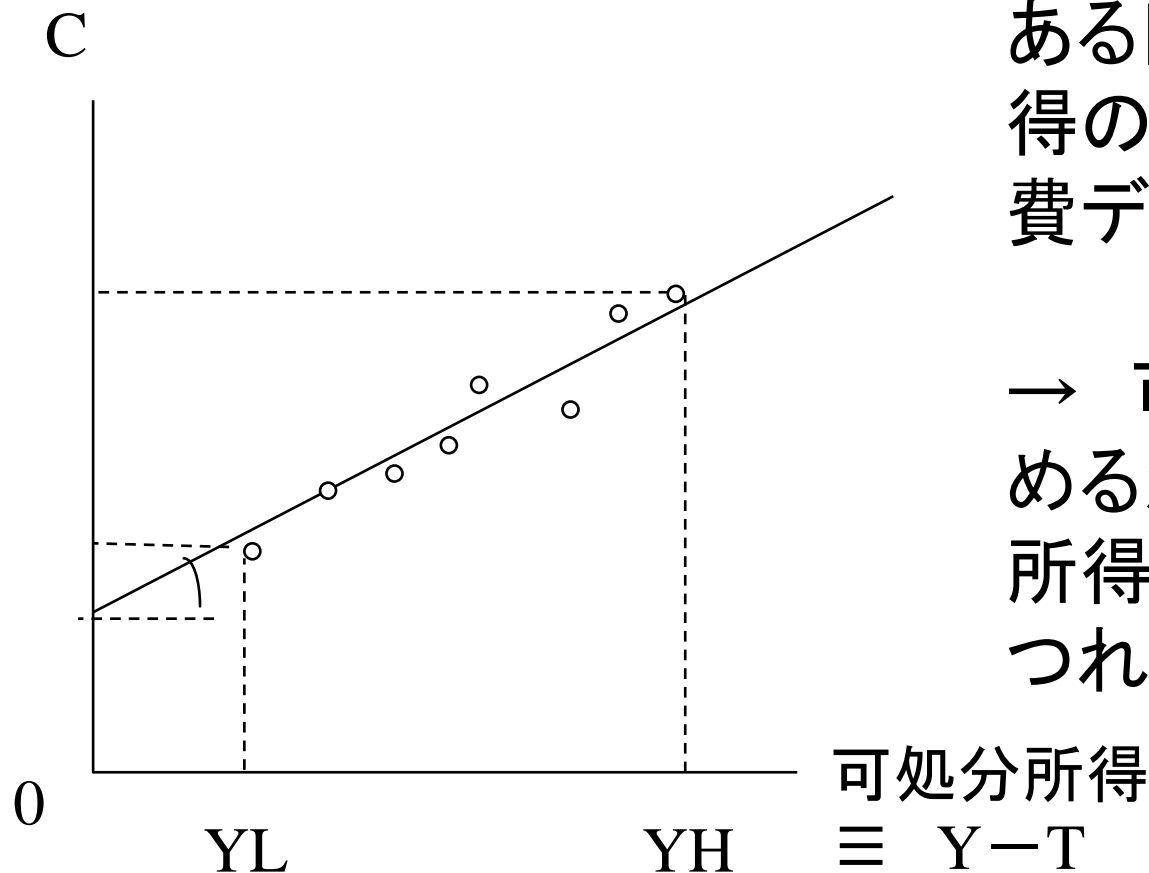
→ ケインズ型消費関数は(①)(②い)によって支持される。

しかし、(②あ)によっては支持されない

...新しい理論の必要性 (2つを同時に説明)

5. 1 ケインズ型消費関数は「正しい」か？

図：クロス・セクション

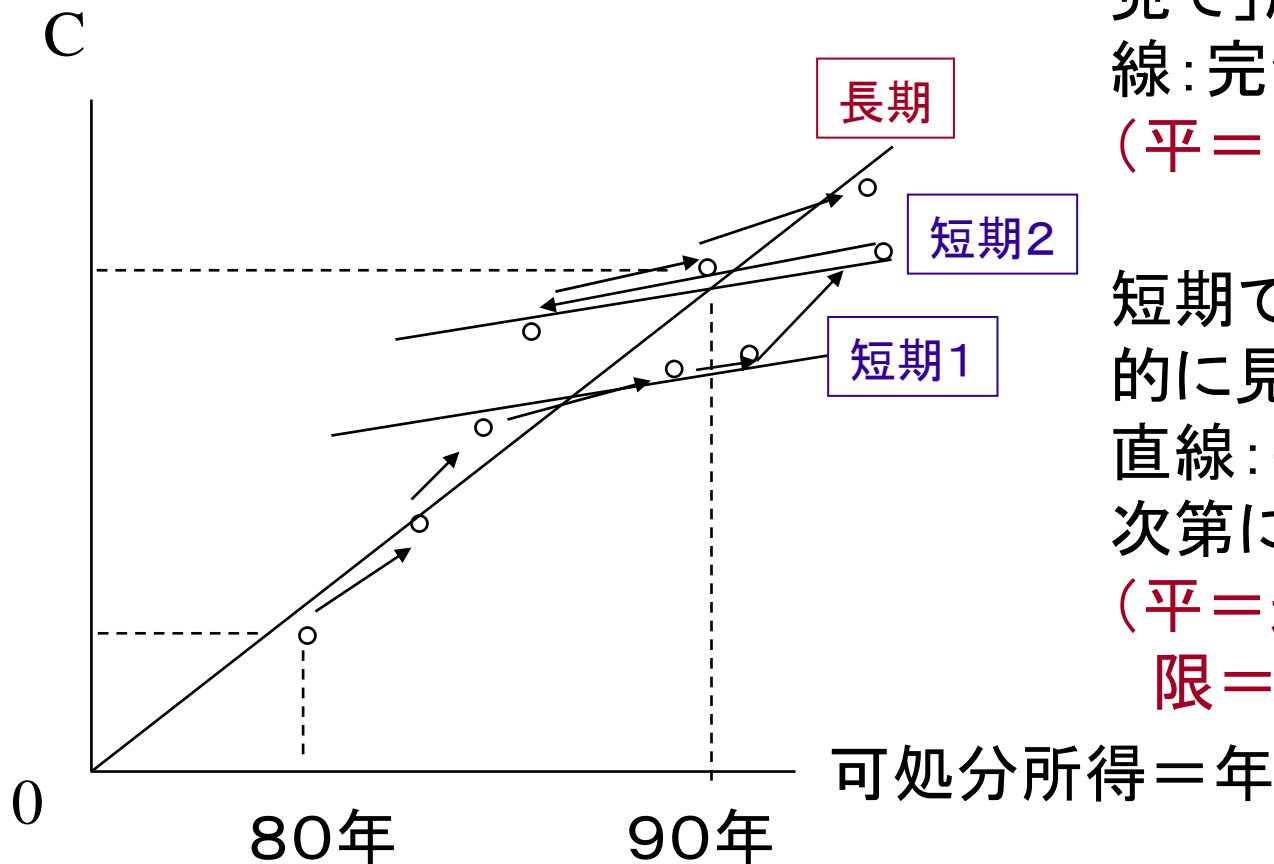


ある同一時点で、所得の違う人々の消費データをならべる

→ 可処分所得に占める消費の大きさが所得が大きくなるにつれ減少していく。

5. 1 ケインズ型消費関数は「正しい」か？

図：タイム・シリーズ



長期で考えると「大きく見て」原点をとる直線：完全に比例
(平 = 限 = 一定)

短期で考えると「部分的に見て」切片を持つ直線：平均消費性向は次第に低下
(平 = 逡減
限 = 一定)

年	勤労者世帯							勤労者以外の世帯				総世帯(1人当たり)			
	年齢(歳)	有業者比率	持家率(%)	実収入	可処分所得	消費支出	平均消費 傾向(%)	年齢(歳)	有業者比率	持家率(%)	消費支出	全世帯	勤労者世帯		
												消費支出	実収入		
実 平成	7年	36.3	1.00	16.7	340,137	289,620	211,755	73.1	65.1	0.22	62.6	158,302	-	-	
	8	36.2	1.00	14.7	341,131	291,301	209,268	71.8	65.5	0.22	61.7	152,722	-	-	
	9	36.1	1.00	14.3	349,830	293,733	208,100	70.8	64.8	0.21	62.4	151,432	-	-	
	10	37.1	1.00	18.1	335,395	283,443	202,417	71.4	66.3	0.21	65.4	156,234	-	-	
	11	37.1	1.00	18.3	350,080	297,448	212,009	71.3	65.3	0.21	65.6	160,626	-	-	
	12	37.5	1.00	19.5	347,498	293,981	203,148	69.1	66.9	0.22	66.9	155,666	104,151	176,119	
	12(除く)	37.4	1.00	20.5	336,928	286,280	203,958	71.2	66.1	0.22	66.0	155,912	281,208	508,984	
	13	37.8	1.00	20.3	338,354	287,294	191,870	66.8	67.2	0.18	65.6	158,203	102,316	173,770	
	14	37.8	1.00	18.5	337,448	281,342	193,906	68.9	66.7	0.19	66.1	153,999	102,599	170,670	
	15	38.2	1.00	19.5	340,948	287,482	191,106	66.5	67.2	0.20	71.2	151,282	101,692	167,166	
	対前年(同期)名目増減率(%)							1)							
	平成	8年	-	-	-	0.2	0.6	-1.2	-1.3	-	-	-	-3.5	-	-
		9	-	-	-	2.6	0.8	-0.6	-1.0	-	-	-	-0.8	-	-
		10	-	-	-	-4.1	-3.5	-2.7	0.6	-	-	-	3.2	-	-
		11	-	-	-	4.4	4.9	4.8	-0.1	-	-	-	2.8	-	-
	12(含む)	-	-	-	-0.7	-1.2	-4.2	-2.2	-	-	-	-3.1	-	-	
	12	-	-	-	-3.8	-3.8	-3.8	-0.1	-	-	-	-2.9	-	-	
	13	-	-	-	-2.6	-2.3	-5.6	-2.3	-	-	-	1.6	-1.8	-1.3	
	14	-	-	-	-0.3	-2.1	1.1	2.1	-	-	-	-2.7	0.3	-1.8	
	15	-	-	-	1.0	2.2	-1.4	-2.4	-	-	-	-1.8	-0.9	-2.1	
対前年(同期)名目増減率(%)															
平成	8年	-	-	-	0.2	0.6	-1.2	-	-	-	-	-3.5	-	-	
	9	-	-	-	1.0	-0.8	-2.2	-	-	-	-	-2.4	-	-	
	10	-	-	-	-4.8	-4.2	-3.4	-	-	-	-	2.5	-	-	
	11	-	-	-	4.8	5.3	5.2	-	-	-	-	3.2	-	-	
	12	-	-	-	0.2	-0.3	-3.3	-	-	-	-	-2.2	-	-	
	12	-	-	-	-2.9	-2.9	-2.9	-	-	-	-	-2.0	-	-	
	13	-	-	-	-1.7	-1.4	-4.7	-	-	-	-	2.5	-0.9	-0.4	
	14	-	-	-	0.8	-1.0	2.2	-	-	-	-	-1.6	1.4	-0.7	
	15	-	-	-	1.3	2.5	-1.1	-	-	-	-	-1.5	-0.6	-1.8	

